

「推進戦略の28課題」と「重点的に取り組むべき課題」と 「工事発注者として重点的に取り組むべき課題」の位置づけと対応表

○位置づけ

推進戦略(H20.7)第4章に
示した情報化施工の普及に
向けた課題

推進戦略の28課題を基本に、
業界との意見交換、試験施
工のアンケート調査、各地整
等によるニーズ把握等を踏ま
え重点課題を整理

重点的に取り組むべき課題の
中で発注者として取り組むべ
き課題の具体的な対応方針
等を整理

推進戦略の28課題

重点化

重点的に
取り組むべき課題
(28課題から選択)

+

重点的に
取り組むべき課題
(追加)

具体化

工事発注者として
重点的に
取り組むべき課題

[資料7]

工事発注者の課題、施工企業等の課題、共
通課題に整理

[資料8]

推進戦略による普及を通して得た情報を踏ま
え、平成24年度までに重点的に実施するべ
き課題の選択と集中を実施

[資料9]

具体的な対応方針、スケジュール、取り組み
体制を整理

○対応表

推進戦略の28課題[資料7]

重点的に取り組むべき課題[資料8]

課題		
(1) 工事発注者の課題	① 施工管理手法および監督・検査の情報化施工への対応	1 施工管理要領やマニュアルの整備
		2 情報化施工に対応した新たな施工管理手法及び規格値の検討
		3 施工管理、監督・検査の合理化
		4 監督・検査体制の検討
	② 施工データの受発注者間の共有	5 発注者にとって有用な施工データの考え方の検討
		6 受発注者間での共有データの取り扱いルールの構築
	③ 総合評価落札方式における技術提案に対する適正な評価	7 各種の情報化施工技術の品質・コストの評価
		8 情報化施工に適した条件(工事規模等)の検討
		9 施工効率(生産性)の評価
	④ 情報化施工を前提とした設計基準の見直し	10 新たな土の締固め基準の研究
		11 施工精度の向上による新たな舗装基準の研究
		12 ダム施工における施工余裕率低減に関する研究
(2) 施工企業等の課題	⑤ 情報化施工に必要な3次元データ作成における設計業務との連携	13 建設機械への入力用設計データ作成の合理化
		14 出来高部分払いへの応用
		15 道路土工と舗装工の出来形データの連携
	⑥ 施工データの有効活用	16 施工データの維持管理への活用方策の調査・研究
		17 技術情報の収集・整理
		18 海外事例の調査
(3) 共通課題	① 分かりやすい技術情報の提供	19 用語の定義・統一
		20 情報化施工に対応する建設機械の普及促進
		21 ユーザが容易に調達できる環境の整備
	② ハード・ソフトの普及促進	22 研修内容の整理
		23 研修体制の確立
		24 資格制度の創設に向けた検討
	② 標準化の推進	25 標準化(国際規格、国内規格、業界規格)の推進
		26 データ交換標準の運用体制の整備
		27 情報発信の強化
	③ 普及のための情報発信	28 情報化施工の導入現場の公開

項目	業界等からの意見
1. 普及推進に向けた動機付け・インセンティブ	
① 活用工事	活用事の見通しと継続的な活用
② 積算基準	情報化施工用機器等の調達費用の計上
③ 活用時のインセンティブ	導入期での施工歩掛(コスト削減を前提としない)
④ 導入効果	工事成績評点の加算
2. 導入環境の整備	
① 監督・検査、施工管理基準の整備	総合評価における優遇措置
	下請け(機械土工専門工事等)に対するインセンティブ
	導入効果の定量的な評価と周知
② データ流通の円滑化	二重管理の廃止
	TS出来形管理の監督検査要領、管理要領(舗装工)の策定
	TS出来形管理要領(土工)の改訂(H22.12)
③ 人材育成	情報化施工の効果を活かした管理基準
	電子データと紙データの二重納品の軽減
	発注者側からの設計データの提供
3. 情報化施工技術・機器等	施工者側でのデータ作成(費用計上)
	システム間のデータ互換性
	施工プロセス間でのデータ連携(工事間、施工から維持管理など)
① 普及促進する技術	建設会社・レンタル会社等の人材育成と技術力の評価(資格制度等)
	発注者側(現場の担当者レベルまで)の意識改革と人材育成
② 機器類の調達環境の改善	ブルドーザやバックホウ、締固め管理技術等の普及促進も
	新たな技術の普及促進も
	機器・システム等の調達費用の低価格化
③ 機器類の改善	機器・システム等の台数の増加(地方部も)
	建設機械へのアタッチメント化(取付の簡便化)
	トラブル改善(無線通信障害、衛星補足など)
TSの計測範囲・精度の向上	
現場ニーズに対応した改善	
データ改ざん防止	

工事発注者として重点的に取り組むべき課題[資料9]

要望	対応する具体的内容
1-1	バックホウ技術の普及推進
1-2	ブルドーザ技術の普及促進
2	情報化施工技術の特性に応じた基準・要領の策定
3-1	TS/GNSS締固め管理の基準・要領の策定(厚さ管理の導入)
3-2	舗装工のTS出来形管理の基準・要領の策定
3-3	土工のGNSSの出来形管理の基準・要領を策定(締固め管理は3-1で対応)
4-1	更なる情報化施工技術活用のインセンティブの付与
4-2	専門工事業者及び技術力をもったオペレータの評価
5	二次元データの三次元化の効率化